

パソコンスペックの確認方法

この資料では、Windows11 パソコンのスペックを調べる方法の一例を紹介しています。記載している以外の方法でも調べられますので、検索サイトで「パソコンスペックの調べ方」などをキーワードに調べても構いません。

1 パソコンのスペックを調べる方法

(ア) 調べる前の準備

まず、パソコンの電源を入れ、スペックを表示する準備をします

- ①パソコンの電源を入れる(必要な場合はログインする)

(イ) システムの詳細情報画面を開く

- ①パソコンが立ち上がったら、キーボードの Windows キー(☐または[WIN])を押しながら「x」キーを押す(2つのキーを同時に押します)
- ②表示されたメニューの中から「システム(Y)」をクリックする
- ③詳細情報の画面(図1)が開きます。

(ウ) プロセッサ(CPU)を調べる

- ①「デバイスの仕様」という欄の「プロセッサ」項目(図1の A)にプロセッサ(CPU)の型番が記載されています。例えば

- 12th Gen Intel(R) Core(TM) i5-1235U 1.30 GHz
- Intel(R) Core(TM) i5-8500 3.00GHz
- AMD Ryzen 5 3800X 3.00GHz など

(表示が異なる場合は下にスクロールし、「バージョン情報」項目をクリックします。)

- ②大手前大学・短期大学の授業では、「Core(TM) i3」「同 i5」「同 i7」など(一般に、数字が大きいと高性能)が使用できます(AMD の場合は、これらと同等の性能であること)。

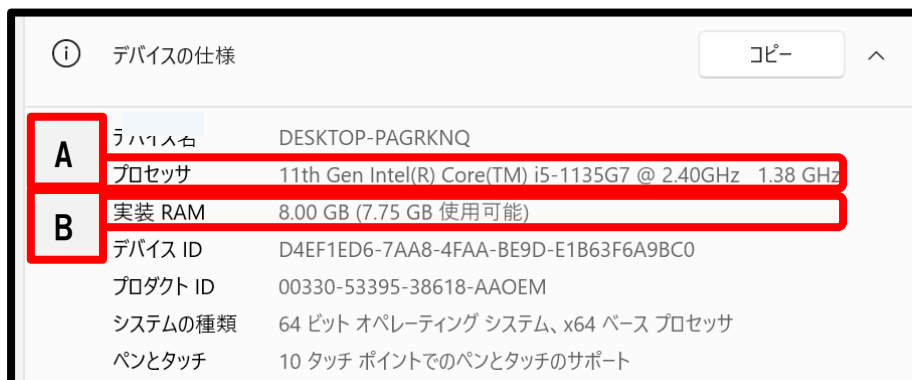


図 1

(エ) メモリを調べる

- ①プロセッサの次にある「実装 RAM」項目に書かれた数値がメモリの量です(図2の B)。
- ②大手前大学・短期大学の授業では、4.00GB 以上であれば使用ができます。ただし、卒業までの4年間で快適に使用するには8.00GB 以上、また学部や履修するメジャーによっては16.0GB 以上必要になる場合もあります。

(オ) 記憶装置(SSD、ハードディスク)を調べる

①表示している画面の左側から、「システム」をクリックします(図2のC)。

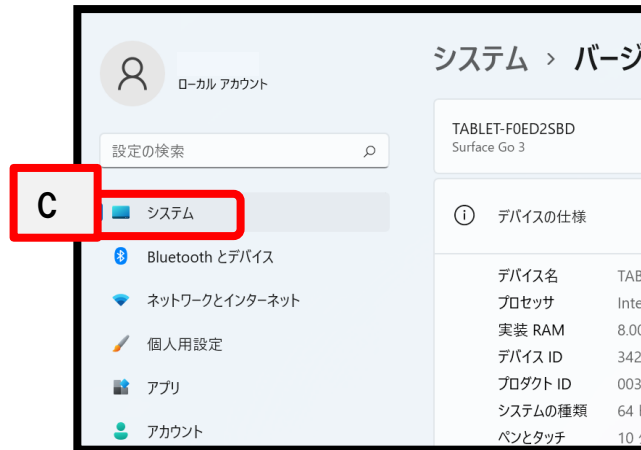


図 2

② 画面の右側から、「記憶域」(「ストレージ」と表示されている場合もあります)をクリックします(図3のD)。



図 3

- ③ 標準的な設定の場合、「OS(C:)」や「Local Disk(C:)」の横に書かれた数値が記憶装置の容量です(図4のE)。ただし、空き容量が不足していると、ファイルの保存ができなくなります。不要なファイルを削除したり、外付けの記憶装置を準備するなどしてください。



図 4